【小学生の部】優秀賞

私のねがい

秦野市立堀川小学校
四年　宮崎琴羽

私の兄は自閉症で、ようご学校に通っています。全く言葉が話せません。でも、こちらから声をかけると、言葉を理かいして動いてくれたり、食べ物や行き先、おもちゃなどの写真を使って、自分の要求を伝える事ができるので、日じょう生活でこまる事はあまりありません。部屋を自分からかたづけてくれる時もあり、その場のじょうきょうを考えて行動する事は、私でもむずかしいので、考える力があるんだなと思います。ただ、時々大きな声を出したりして、周りの人にじろじろ見られて、はずかしい思いをする事がありま す。

私は、ヘレン・ケラーの言葉が大すきです。

「しょうがいのある人は不便だけれど、不

幸ではない。」

その言葉は、私の心にぐっとひびきました。

兄も、言葉が出なくて不便かもしれませんが、

毎日けんこうで、ニコニコ顔で生活ができ

ていますの。他のしょうがいがある人達も、き

っと楽しい毎日をすごせているにちがいない

と思っています。

兄は、言葉が話せませんが、いつも私と妹

にやさしくせっしてくれるので、そんな兄の

事が私は大すきです。

みなさんも、しょうがいがある人の事を、

「あの人変だな。」

とか、

「おかしいんじゃない？」

など思わず、しょうがいがある人もない

人も、世界中のみんなが同じ「人」として生

きていけたらいいなと心からねがっています。